

令和5（2023）年4月12日

経済産業大臣 西村 康稔 様  
資源エネルギー庁長官 保坂 伸 様  
内閣府特命担当大臣（原子力防災）西村 明宏 様  
原子力規制委員会委員長 山中 伸介 様  
原子力規制庁長官 片山 啓 様  
新潟県知事 花角 英世 様  
柏崎市長 櫻井 雅浩 様  
刈羽村長 品田 宏夫 様  
東京電力ホールディングス株式会社  
代表執行役社長 小早川 智明 様

柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会  
会 長 三 宮 徳 保

### 柏崎刈羽原子力発電所の安全性を一層高めるための要望書

日頃から、当会の活動に対しまして、ご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

当会は、柏崎刈羽原子力発電所の安全性と透明性を確保することを目的として、平成15（2003）年5月に設立され、現在、第10期の委員16名が、発電所のトラブルや規制基準、原子力防災、核燃料サイクル、高レベル放射性廃棄物の最終処分などをテーマとして、様々な議論を重ねております。

今般、令和3（2021）年5月から令和5（2023）年4月までの2年間の任期を終えるにあたり、第10期委員の活動を総括し、別紙のとおり要望書を提出いたします。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、5月末日までに要望に対する回答をいただきますようお願い申し上げます。

## 1 国に対して

### (1) エネルギー安全保障に対する原子力政策について（経済産業省、資源エネルギー庁）

ロシアによるウクライナへの侵攻により、世界経済は混迷の度合いを深め、エネルギー価格や物価の高騰、電力不足などが大きな問題となっています。

また、原子力政策について国は、原子力発電所の活用を進めるとし、政策推進のために前面に立つと明言されました。しかし、原子力発電所立地地域住民には、国の具体的な動きがまったく見えず、必ずしもその本気度が伝わってきていないと言わざるを得ません。

ついては、

- ① エネルギーの安定供給のための具体的な政策を、説明・周知していただきたい。
- ② エネルギー政策の基本的視点である「S+3E」の、国民的理解を深める活動を進めていただきたい。
- ③ 原子力発電所の運転期間の延長について、国の責任において、その安全性をより丁寧に電源立地地域の住民に説明していただきたい。

### (2) 実効性のある広域避難計画策定への支援と施設整備について（内閣府、原子力規制委員会）

柏崎・刈羽地域では、毎年のように大雪による道路の渋滞や停電が発生し、今冬においても、北陸自動車道と国道8号が最大で50時間もの間、通行不能になったほか、約4日間に及ぶ大規模停電も発生しました。このような自然災害と原子力災害が複合的に発生した際の安全な住民避難は大きな課題であり、国が前面に立って、より実効性のある避難計画策定のための方策を示すことが必要であると考えます。

ついては、

- ① 原子力災害対策指針のさらなる充実を図るとともに、より実効性のある避難計画の策定のため、新潟県と柏崎市、刈羽村に対する国の全面的な協力をお願いしたい。
- ② 広域避難のための道路整備と除雪、排雪、融雪施設等の整備拡充をお願いしたい。
- ③ 放射線防護施設、設備などの整備拡充をお願いしたい。

### (3) 原子力発電事業への規制の強化について（原子力規制委員会、原子力規制庁）

令和3（2021）年4月、柏崎刈羽原子力発電所のテロ対策の不備が相次いだ問題で、原子力規制委員会は、同原発の核燃料の移動を禁じるなどの是正措置命令を出しました。

現在、追加検査が行われており、移動禁止命令の解除を判断する時期は、見通せない状況となっています。

ついては、

- ① 慎重かつ十分な審査の状況などについて、地域住民に対する丁寧な説明と適時適切な情報提供をお願いしたい。
- ② 原子力発電所の安全性を高めるため、現地事務所の人員を増強するなど、組織体制の強化をお願いしたい。

- ③ 一連の不祥事の再発を防止するため、原子力発電事業者に対し、更なる規制の強化をお願いしたい。

#### (4) 核燃料サイクルと高レベル放射性廃棄物の最終処分について（経済産業省、資源エネルギー庁）

国は、本年2月に高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する基本方針を改定すると発表しました。改定案では、最終処分の実現に向け「政府は一丸となり、政府の責任で取り組む」とし、文献調査に関心を示す地域の関係先に対し、自治体が受け入れを判断する前から、国が検討を申し入れる考えを盛り込むとされています。

ついては、

- ① 最終処分に向けた具体的な取組等の見通しを、明確に示していただきたい。

## 2 新潟県・柏崎市・刈羽村に対して

### (1) 実効性のある避難計画の策定について（新潟県、柏崎市、刈羽村）

当地域では、大雪のたびに重要な避難道路である北陸自動車道と国道8号の渋滞や通行止め、幹線道路の渋滞が繰り返されています。一方で、令和5（2023）年2月に行われた新潟県主催の冬季原子力防災訓練では、停電時の避難確認などが雪のない状況のなかで行われ、訓練の条件や内容に様々な課題が明らかになりました。

ついては、

- ① 住民避難の実効性を高めるため、様々な条件下での訓練の実施をお願いしたい。
- ② 訓練によって明らかになった課題と住民の意見を踏まえ、新潟県、柏崎市、刈羽村3者の強力な連携のもと、より実効性のある広域避難計画の策定をお願いしたい。
- ③ 豪雪や風水害、猛暑等の自然災害と原子力との複合災害時における、より安全な住民避難の方法について検討をお願いしたい。

### (2) 原発事故に関する3つの検証について（新潟県）

新潟県原子力発電所事故に関する3つの検証の一つである「健康・生活委員会健康分科会」の報告書が取りまとめられ、3つの検証のすべての報告書が出そろったことになりました。

ついては、

- ① 検証総括委員会で十分に議論し、その結果を丁寧に説明していただきたい。
- ② 花角知事には、各検証委員会と技術委員会が出された結果を尊重し、最終的な判断をお願いしたい。

## 3 東京電力ホールディングス株式会社に対して

### (1) 信頼回復に向けた取組について

平成14（2002）年に明らかになった柏崎刈羽原子力発電所における「自主点検作業

記録」の意図的な改ざん、隠ぺいなどの不正問題を契機に、地域の会は発足しました。その後も、IDカードの不正使用、核物質防護設備の機能の一部喪失及び安全対策工事の未完了、最近では審査書類の流用問題など、数多くの不適切な事象が発生しています。

本社原子力部門の当地域への移転など、評価できる対応もありますが、全体的な取組としては極めて不十分であると言わざるを得ません。

本年4月で10期20年の節目を迎える地域の会として、次のとおり強く要望します。

- ① 不適切な事象の原因究明を徹底し、責任の所在を明らかにするとともに、再発防止対策に加え、会社全体の意識・体質の抜本的な改革と継続的な見直しをお願いしたい。
- ② 地域住民をはじめ、新潟県、柏崎市、刈羽村及びその他周辺自治体に対して、迅速かつ正確な情報発信に努め、更なる連携を図りながら信頼性の向上に精励していただきたい。
- ③ 原子力発電所の運営という重大な責務を自覚し、高い規範意識と自己浄化能力を有する社員の育成と企業風土の醸成をお願いしたい。